

# 算数 授業づくり講座 in 香南市立野市東小学校

授業をアップデート!  
生きて働く学びを創る!  
令和5年10月発行  
東部教育事務所



東部管内の講座情報



本事業では、学習指導要領が目指す授業づくりを推し進めるとともに、日常的に授業研究に取り組む風土づくりを行い、自ら学び続け、共に高め合う教員を育成することを目指します。

算数科では▶**数学的活動の充実**▶**数学的な見方・考え方を働かせる授業づくり**について提案しています。本紙では香南市立野市東小学校の【教材研究会（8月30日実施）】における学びの様子をお知らせします。

## 単元の提案

### 第4学年「がい数の使い方と表し方」

【課題】 事前アンケート結果より

- ・日頃の買い物では、半数以上の児童が実際の金額で計算している。
- ・約75%の児童がお金が足りなくなったなど、買い物で失敗したことがある。

【単元ゴールで目指す児童の姿】

- 概数のよさに気付き、場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えることができる。



授業者  
宮地 佐和 教諭

**Point!**

場面の意味に着目して目的に応じて数を処理する

児童の実態、資質・能力、教科書をもとにオリジナル単元を作成!

#### 教科書の流れ

全8時間中5時間が四捨五入についての学習となっており、切り上げ、切り捨てについて取り扱う時間が少ない。

#### ★単元を再構成

児童に意味理解や活用場面の考察をさせるために、「切り上げ、切り捨て」について学習する時間を追加する。

#### ★本時について

児童に目的に応じた処理の仕方を考えさせることや、見積りのよさを実感させることができるよう、切り上げと切り捨ての2つの場面を扱う。

#### 協議より

- ・導入で概数にするよさや利便性に気付くことができるような工夫が必要である。
- ・中学校では「近似値」「有効数字」という学習をする。その学習でもやはり目的意識が大事になってくるので、本単元でも目的意識を貫きながら進めていくことが大切である。
- ・本時の導入でアンケート結果を使うのがよい。児童に失敗の原因まで具体的に話させることで、主体的に学びを進めることができると思う。



#### 指導・助言

文部科学省 国立教育政策研究所 笠井 健一 教科調査官

**Point!**

### 子どもが考えて、学び合う授業へ



#### 目的に合った数の処理をするうえでの Point

令和4年度全国学力・学習状況調査の「必ず大きくなるのがわくためには」という問いに対して、ほとんどの児童が「四捨五入をする」と誤答している。このような児童が、「この場面では必ず切り捨てをしないといけない」と目的に合わせて処理する方法を判断できるようになることが必要である。本時に設定されている値段は特別な場合である。切り上げをしなくても1000円で足りる場合もあるが、「持っているお金で買えるかどうか判断するには、必ず切り上げをしないといけない」と納得させる。

そこで、例えば、次のような場面を扱い、全員が正しく判断するためにはどの方法で概数にして計算するとよいかを説明させ、理解できるようにする。

#### ④ 1000円で足りるかな。

- ・四捨五入をして概算し1000円になった。
- ・切り捨てをして概算し1000円になった。
- ・切り上げをして概算し1000円になった。

これまで概数にすることを学んできているが、概数からその数になる範囲を考えさせるような逆の考えを丁寧に扱っておくことが本時を学習するうえでのポイントである。

#### 算数が苦手な児童のために頑張るのは先生だけじゃない、児童同士の協働的な学びでお互いに教え合い、学び合いを!

算数が苦手な児童、支援が必要な児童が昔より増えている。だからこそ、授業では先生一人が頑張るのではなく、児童の力を借りる。

児童同士の教え合いの場面では、教える側の児童がつまづいている児童の気持ちを分かってあげられることが大切。算数が得意な児童が苦手な児童に寄り添って、その児童が分かるような教え方ができること。分からないことがあれば、「ここが分からない。」と素直に言える学級づくりをしていく。

そのためには、まずは先生が日々の授業で算数が苦手な児童に寄り添う授業をしていく。それをクラスの児童が学んでいく。このようなことができたらこそ、学級全体の学びが意味のあるものになっていく。

#### 参加者の感想

つまづいている児童にどれだけ寄り添えているか、思い返すことができた。問題を解決できたことが評価の全てでなく、クラス全員が分かるように説明できるかなどの思考力をつけられたか、という点で評価することが大切だと感じた。

#### 授業者より

単元を通して、概数にする目的を明確にもって課題に取り組むことを児童も自分自身も大事にしていきたい。そして、クラス全員が理解できるようにしていきたい。そのために、どのような説明なら理解できるのか、それを、私自身が説明するのではなく、児童同士で説明し合い分かり合える環境をこれから創っていきたい。

#### Challenge!

##### 教科書の有効活用

笠井調査官、野市東小学校からのご提案のように、育成すべき資質・能力と教科書、児童の実態をもとに、児童にとって価値ある学びのある単元づくりにチャレンジしていきましょう。